令和6年度北栄町防災会議　次第

日時　令和7年3月25日（火）午後2時～
場所　大栄農村環境改善センター

1　開会

2　会長あいさつ

3　報告事項
（1）令和6年度　災害等対応状況について

（2）令和6年度　町防災事業の実施状況について

4　協議事項
（1）令和7年度　町防災事業（取組予定）について

（2）ペット同行避難について

5　意見交換
（1）NTT の防災対策の取組について

（2）北栄町防災への意見・要望等について

（3）その他

7　その他

8　閉　会

北栄町防災会議委員名簿

任期：令和8年3月21日まで　　（敬称略）

機　関　名	職名	氏　　名	代理出席者	備考
北栄町	町長	手 嶋　俊 樹		会長
国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所	所長	高　橋　　渉	副所長 稲田 一敏	1号委員
鳥取県中部総合事務所 県民福祉局	局長	小　谷　　章		2号委員
倉吉警察署	署長	足 羽　光 芳	警備課長 高田　康平	3号委員
北栄町	副町長	岡 本　圭 司		4号委員
北栄町	総務課長	磯 江　昭 徳		〃
北栄町	産業振興課長	清 水　直 樹		〃
北栄町	福祉課長	小　澤　　靖		〃
北栄町	地域整備課長	中 原　浩 二		〃
北栄町	教育総務課長	松 本　裕 実		〃
北栄町教育委員会	教育長	笠 見　隆 志		5号委員
鳥取中部ふるさと広域連合　消防局	局長	前 田　輝 彦		6号委員
北栄町消防団	団長	川 口　美 記 也		7号委員
西日本電信電話株式会社　鳥取支店	支店長	小 川 原　秀 哉	ビジネス営業部 担当課長　庭　一郎	8号委員
中国電力ネットワーク株式会社 倉吉ネットワークセンター	所長	杉　本　　学		〃
鳥取中央有線放送株式会社	管理部管理課長	加 登 脇　有		〃
自主防災組織代表	さつきケ丘団地 自治会長	石 田　浩 文		9号委員
鳥取県自主防災活動アドバイザー	アドバイザー	長 谷 川　孝 司		〃
北栄町大栄赤十字奉仕団	委員長	勝 田　初 美		10号委員
北栄町北条赤十字奉仕団	委員長	脇 坂　み ど り		〃
北栄町社会福祉協議会	総務・地域福祉係長	前 田　悦 子	欠席	〃
介護老人保健施設 ル・サンテリオン北条	施設長	飯　田　　憲	総務相談課 米塚　友哉	〃
北栄町	健康推進課長	前 田　美 友 紀		〃

事務局

北栄町総務課情報防災室	室長	山　本　幸　司		
北栄町総務課情報防災室	主任	時　枝　亮　平		

報告事項

(1)令和6年度　災害等対応状況について

7/9 大雨	大雨警報(浸水害) 12:23-17:47	警戒体制(1) 12:30-17:52	被害なし
2/7～8 大雪	大雪警報 16:08-2/8 15:55	警戒体制(1) 16:10-2/8 15:55	西園 50 代男性、除雪作業中に転倒し救急搬送。大腿骨骨折

(2)令和6年度　町防災事業の実施状況について

1　訓練等

(1)北栄町総合防災訓練　(9/1(日)AM)大栄農村環境改善センター

訓練内容

ア　避難所への避難訓練(避難指示発令)

イ　自治会との避難情報連携訓練

ウ　防災講演会　「能登半島地震から見えた地震への備えなど」
　　長坂俊成　立教大学教授

エ　炊き出し訓練(赤十字奉仕団:カレーライス150人前作成)大栄健康増進センター

オ　消防団避難誘導・現地確認などの訓練

(2)北栄町障がい者地域自立支援協議会防災研修会(7/3)
　水害・土砂災害の基礎知識　県中部総合事務所県土整備局

2　自主防災組織への助成(R6.3.1 現在)

ア　自主防災組織育成交付金(訓練活動)　36 自治会、助成総額　1,087,200 円

イ　防火防災器具等整備交付金(防火防災器具購入)　37 自治会、助成総額　1,525,720 円

3　防災士の育成

防災士資格取得に必要な研修受講費や資格試験受験料の費用を町が負担。

・R6年度資格取得7名　(延べ67 名)

4　備蓄品の購入

・簡易テント 28 基、折り畳み式ベッド 30 台、ミルクなど

・毛布 1,000 枚(道の駅ほうじょう備蓄倉庫)

5　情報配信アプリの導入　防災行政無線の情報をスマホで受信

6　防災関連協定

ア　モバイル建築を活用した災害時における応急仮設住宅等の建設に関する協定書
　　一般社団法人日本モバイル建築協会

イ　災害時における復旧支援協力に関する協定
　　公益社団法人日本下水道管路管理業協会

ウ　災害時における応急仮設住宅(移動式木造住宅)の建設に関する協定書
　　一般社団法人日本ムービングハウス協会

協議事項

(1)令和7年度　町防災事業(取組予定)について

1　訓練等

(1)町総合防災訓練

9月7日(日)　北条農村環境改善センターをメイン会場として実施

ア　災害対策本部設置訓練

イ　自治会との避難情報連携訓練

ウ　防災講演会　テーマは未定(地震・風水害・避難情報等)

エ　炊き出し訓練　　北栄町赤十字奉仕団

オ　救助訓練　　北栄町消防団

(2)北栄町障がい者地域自立支援協議会防災研修会

2　自主防災組織、自治会への活動支援

(1)避難行動要支援者名簿の情報提供に関する条例の周知

(2)個別支援の取組

ア　自主防災組織化支援

イ　自治会独自訓練・研修への助言・指導

ウ　自治会防災マップ、支え愛マップ作成支援

エ　防災関連出前講座

3　防災士の育成

・県主催による養成研修会が、10 月ごろに開催予定。

4　備蓄品の購入

(1)簡易テント、折り畳み式ベッド

(2)備蓄品(保存食(カレーライス、かゆ、炊き出しセット)、保存水、液体ミルク、ウエットティッシュなど)

5　情報配信アプリの周知

自治会長会や出前講座、高齢者のスマホ教室などで紹介

転入者には転入手続きの際に紹介

(2)ペット同行避難について

近年、ペットは家族の一員であるという意識が一般的になりつつあることから、ペットと同行避難をすることは、動物愛護の観点のみならず、飼い主である被災者が安心して避難できるという点での心のケアの観点からも重要である。(県防災計画)

課題:動物が苦手、アレルギーがあるなど、ペットを飼っていない人(一般避難者)とペット同行者の避難場所(部屋)を変える必要がある。その他の配慮について、役場内での検討に限界がある。

検討:人と動物の共生センター(2026 年 2 月を期限に、内閣府からペット同行避難を支援)に相談し、現行の避難所の中から中央公民館(部屋が区切られている)を候補として、センターと保健所と町で現地確認し、課題の抽出や運営の検討を実施。

【一般避難所と交わらないような同線確保】

①中央公民館の正面入口(南側)で受付をする。(※ペットは駐車場にて車中待機)

②北側入口からペットを連れて入り、1 階の中研修室にて飼い主とペットが同室で避難する。

③避難者が多い場合は、旧北条庁舎の 1 階ロビーに全員移動する。

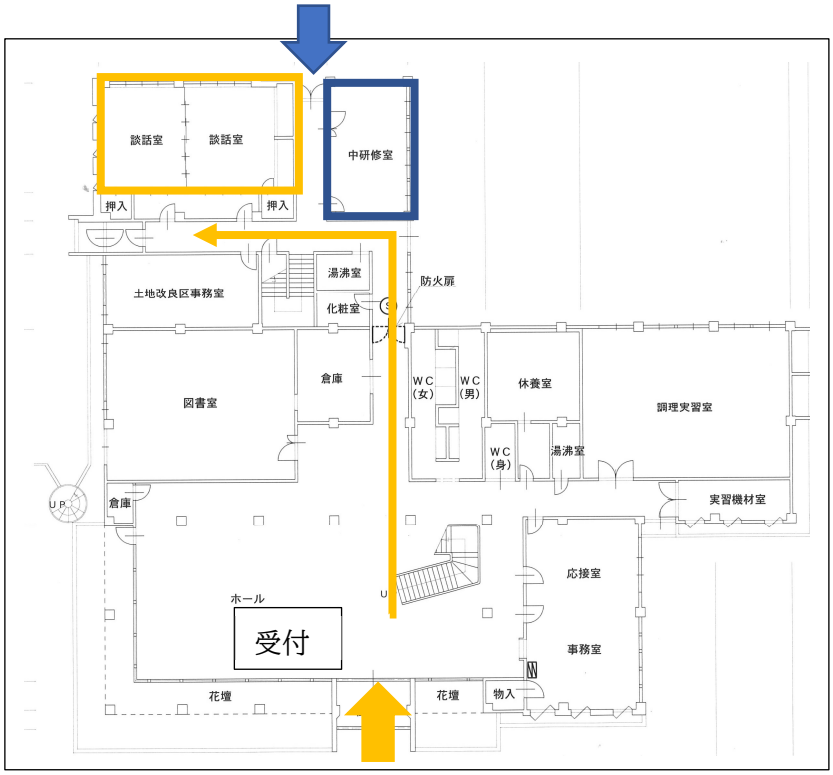
※風水害で浸水の危険がある場合は、中央公民館の 2 階研修室(大)もしくは(小)に垂直避難する。

【屋内での準備】

①ブルーシートを敷く。

②動物種によってスペースを分ける。(同居している場合は除く)

※感染症対策としてペット同士の接触は控え、猫は手が届かないように段ボールやパーテーションで仕切る。



【センターからのサポート】

町がペット飼育者の同伴避難所として確定した場合、飼い主が守るルールを作成。

認定 NPO 法人 人と動物の共生センター 鳥取支部